

研究計画書

ゼミ名	萩巣ゼミ	チーム名	チーム日の丸
タイトル	オリンピック競技の選定による影響		
テーマ群	a) 理論・情報 g) その他		
メンバー	坂野佑輔、藤ヶ崎大陸		
研究計画内容	【研究背景】 オリンピックは、世界中から注目を集める国際的なスポーツイベントであり、正式種目への選定は対象となる競技の社会、経済的に大きな影響を及ぼすと考えられる。近年では、スケートボードやサーフィン、ブレイキンといったストリートカルチャーを背景に持つ競技が相次いで選定され、若者を中心に大きな関心を集めている。これらの競技が正式種目として選定されることにより、競技人口の増加、スポンサー契約の拡大、メディア露出の増大など、競技を取り巻く環境に多様な変化が生じるであろう。そこで本研究では、オリンピックの正式種目に新たに選定された競技が、社会的および経済的にどのような影響を受けるのかについて明らかにすることを目的とする。 【研究内容】 本研究では、オリンピックに新たに選定されたブレイキンやスケートボードなどの競技を対象とし、選定前・選定時・開催年・開催後の各時期に区分して分析を行う。オリンピック競技への選定は競技人口の増加をもたらすと考えられるが、実際の競技人口を正確に把握・定義することは容易ではない[1]。そこで本研究では、まず新聞記事を用いて各競技に関する報道量等の変化を検証し、社会的関心や注目度の高まりを定量的に把握する。さらに報道以外の新たなデータ源の可能性を模索し、一般市民の関心や認知度の変化を多角的に把握することを検討する。これにより、従来の統計的手法では捉えにくいリアルタイムな社会的反応を明らかにする。これらの分析を通じて、オリンピック正式種目への選定が競技の発展、社会的評価、そして経済的にどのような影響をもたらすのかを総合的に検討する。 【期待される効果】 本研究によって、オリンピック正式種目への選定が対象の競技の社会的認知や経済的に与える影響を時系列的に明らかにし、競技選定がどのように社会的認知の向上や市場拡大に寄与しているかを客観的に示すことができると考えられる。また、報道量や認知度の変化を可視化することにより、競技選定が持つメディア的・経済的意義を明確にし、スポーツ産業の発展や文化的多様性の促進に関する新たな知見を提供することが期待される。さらに本研究の成果は、今後のオリンピック競技選定の在り方や、除外された競技の支援策を考える上でも有益な基礎資料となり得るだろう。 【参考文献】 [1] 「わが国のスポーツ人口、競技人口を考える」 笹川スポーツ財団（2013） 【データ出所】 朝日新聞クロスサーチ		